

※授業料免除申請をする場合は、免除と併せて徴収猶予の申請をしてください。別途、本様式での申請の必要はありません。

申請日 令和 年 月 日

大阪教育大学長 殿

所 属 学 部 (昼 間 ・ 夜 間) ・
大学院 (教育学研究科 ・ 連合教職実践研究科 ・ 学校教育学研究科) ・ 特別専攻科
学 籍 番 号
本 人 氏 名
(自署)

令和8年度 後期分授業料徴収猶予願

私は、下記理由により、令和8年度後期分授業料徴収猶予の申請をいたします。なお、授業料徴収猶予申請にあたり虚偽が判明した場合は、授業料徴収猶予申請の取り下げ又は猶予の許可を取り消されても異議を申し立てません。

※該当する方に○をつけてください。

○がない場合は、簡易申請しないものとして取扱います

本徴収猶予申請については、簡易申請で申請 (します ・ しません) 。
簡易申請の要件については確認済みです。

なお、結果が判明するまで授業料の徴収を猶予願います。
また、選考資料として必要な学業成績については、以下を使用されることに同意します。
・ 本学の大学での成績 (対象：学部・大学院・特別専攻科在学生)

理 由

◆ 1～3のうち、自分の申請理由と一致する番号に○をしてください。
3を選択した場合は、該当する災害の種類に○をつけてください。

1. 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
2. 令和8年4月から令和8年9月までの間に、学資負担者が死亡し、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
3. 令和8年4月から令和8年9月までの間に、本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
災害の種類 (風水害 / その他 ())

◆ (家庭事情) については、本人が家庭事情を詳しく記入してください。

記入のない場合又は簡潔すぎる場合は不備とみなし、申請を受け付けないことがあります。

◆ 主たる家計支持者が無職・失職の場合は、(家庭事情)にその間の生活費の出所を詳細に記入してください。

(家庭事情等記入欄)

※家庭事情等記入欄には、家計状況や申請に至った経緯等を具体的に記入してください。

記載がない場合や内容が著しく簡略である場合 (例「家計が苦しいため」等) は、申請不備として取り扱います。